

意見書

※意見書とは、市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。
2月定例会では下記の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

イスラエル・パレスチナの武力闘争の即時停戦と 人道支援を求める意見書

令和5年10月7日、ハマス等武装勢力がガザ地区からイスラエルに向けて多数のロケット弾を発射し、イスラエル領内に武力攻撃を行いました。また、イスラエルからもガザ地区への空爆、地上侵攻などが行われ、即時停戦を求める国際世論にもかかわらず紛争が続いています。

多数の死傷者が発生し、一般市民も多大な被害を受け、今なお大きな惨劇が続いており、被害を受けている多くは、弱い立場の女性や子どもであります。

同年12月12日の国連総会の緊急特別会合で、「人道目的の即時停戦」を求める決議案に153か国が賛成しました。人道的休戦を求める多くの国の声やパレスチナ情勢が悪化していることを踏まえ、速やかな人道支援や停戦が求められています。

よって、政府及び国会におかれましては、次の事項を実現するよう強く要望します。

- 1 直ちに停戦を求めること。
- 2 停戦に至るまで人道危機に直面する人々の生活を守るよう求めること。
- 3 人質の即時解放、人道状況の改善及び一日も早い平和的解決を求めること。

広島県市議会議長会 東部ブロック議員研修会

令和6年2月2日、府中市文化センター（ジーベックホール）において、竹原市・三原市・尾道市・福山市・府中市の5市議員が集まり、広島県市議会議長会東部ブロック議員研修会が開催されました。初めに、開催市の府中市長より挨拶があり、続いて、広島県副知事 山根健嗣氏より「人口減少問題～雑感～」というテーマでご講演いただき、その後、公益財団法人 中国地域創造研究センター総合研究リーダー・主席研究員の柴田浩喜氏より、「人々の希望と地域選択」というテーマでご講演いただきました。

お二方とも、全国的に問題となっている人口減少・少子高齢化社会による様々な影響についてお話しいただき、その中で課題解決のためには、これからも地元でいたいと思えるまちづくり、将来に希望が持てる魅力あるまちづくりに努めていかないといけないと改めて認識しました。その後、意見交換会を行い、今後も互いに連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいくことを確認しました。（報告：檀上政樹）

